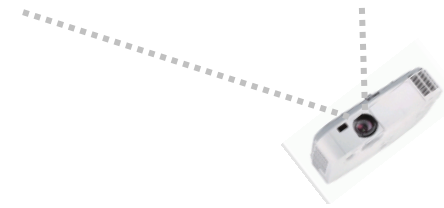


2012年2月8日発行

平成24年1月30日、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）主催の第8回石油・石油ガス備蓄業務改善活動発表会に出席し、この1年間に取組んだ

「固定資産台帳の見直し」
について発表しました。



今回の改善活動は、1984年の当社創設以来見直されずに、形骸化が心配されていた固定資産台帳の見直しを行い、誰もが簡単に、且つ正確に管理できる固定資産管理システムを構築することを目標にしました。

登録されている全資産の現物の写真撮影と台帳との紐付けに時間を要しましたが、担当を分散し相互に支援することで、9月の中間決算に間に合わすことが出来ました。改善効果は次の通りです。

- (1) テキスで作成した補助台帳に写真、図面を添付することで、台帳と現物の検索・照合が容易になりました。
- (2) 資産コードの見直しで、かけ離れた登録が無くなり、各資産の関連付けが容易になりました。
- (3) 手順書（業務フローを含む）の見直しにより、各部署での確認・承認が確実になり、作業もテキストを通じてスムーズになりました。

今回の活動で発表内容をまとめるのに苦労しましたが、技術課くろめグループ全員が結束したことで非常に解りやすい、優しい資料が作成できたと思います。入賞は出来ませんでしたが、主催者からも、他の備蓄基地への今後の展開性の高い意義の有る改善活動だと評価していただきました。

初めてこのような大会に出場し、また大勢の前で発表することになり、非常に緊張しましたが、とても貴重な体験をすることができたと思っています。又、自分と同世代の若い人達も堂々と発表されており、大いに刺激を受けました。発表内容も、各基地毎工夫を凝らしており、見ごたえのあるものでした。今後の参考にしていきたいと思っています。

（技術課 丹生社員）